簿記の電卓の使い方 まとめシート

勉強中に横に置いて、わからない操作があればすぐ見返せるようにまとめたシートです。手順はシャープの電卓を例にしています（キーの名前や位置はメーカー・機種によって少し違うことがあります）。

最初にやること：電卓の設定を確認する

スイッチ	合わせる位置	理由
小数点指定スイッチ	**F**	小数点以下を制限なく表示するため。2や3にしておくと途中で計算結果が丸められ、答えがずれることがある
ラウンドスイッチ／日数計算スイッチ （↑・5/4・↓ ／ 両入・片落・両落）	**いちばん左（↑・両入）**	EL-G37では1つのスイッチで兼用。左にすると日数計算が「両入れ」（最初の日と最後の日を両方数える）になる。小数点指定をFにしていれば、切り上げなどの影響は出ない
GT切替スイッチ （ある機種のみ）	**GT**	ここがGTになっていないと、GT（グランドトータル）機能が使えない

電卓の選び方

選ぶときの3つのポイント

1. 本試験で使えること
   関数電卓など、試験で使えない電卓もある
2. 音が静かなこと
   自習室やカフェで周りの迷惑にならない
3. 必要な機能がそろっていること
   日数計算・メモリー機能などがないと時間が足りなくなる

迷ったらこの電卓

シャープ EL-G37（いちばんおすすめ）
3つのポイントをすべて満たし、充電不要で叩きやすい。簿記・会計の勉強をしている人の定番。

シャープ EL-VN82（予算を抑えたい人向け）
安いが日数計算機能がない。3級ならなんとか対応できるが、2級以上を目指すならEL-G37がおすすめ。

シャープとカシオはどちらでもOK。3つのポイントを満たしていれば問題なし。

電卓の持ち方・叩き方

利き手の逆の手で叩く

右利きなら左手で電卓を叩く。ペンを持ったまま計算できるので、スピードが上がりミスも減る。最初は慣れなくても3日ほど練習すれば慣れる。

人差し指・中指・薬指の3本で叩く

人差し指1本だけ、親指や小指を使うのはNG。3本指で叩けるようになると計算スピードが一気に上がる。

中指を「5」に置く（ホームポジション）

「5」のキーには小さな突起がある。中指をここに置いておくと、どのキーにも楽に指が届く。

電卓を見ずに叩く（ブラインドタッチ）

問題と電卓を目線が行き来すると、ミスや解答欄のずれが起きやすい。ホームポジションと3本指を意識すると、少しずつ見ずに叩けるようになる。

基本操作（必ず押さえておく操作）

1 3つのクリアキーの使い分け

キー	消えるもの	使う場面
CE クリアエントリー	表示中の数字だけ	最後に入れた数字だけ打ち間違えたとき
C クリア	計算の途中経過すべて	計算を最初からやり直すとき
CA オールクリア	メモリーも含めてすべて	迷ったらこれ。新しい計算を始めるとき

例）100,000＋50,000 を計算したいのに 100,000＋40,000 と打ってしまった
CE で 40,000 だけ消す → 5 00 00 = → **150,000**

2 「00」キーで0をまとめて打つ

簿記は0が続く数字がとても多い。0が2つ以上続くときは必ず 00 を使う。

例）1,000,000 を入力 → 1 00 00 00

3 プラスマイナス切り替えキー +/-

表示中の数字のプラスとマイナスを入れ替える。もう一度押すと元に戻る。

例）−60,000 を入力 → 6 00 00 +/- → **−60,000**

4 桁下げキー →

いちばん下の桁を1つ消す。打ち間違えたとき、最初から打ち直さずに直せる。

例）155 と打ちたいのに 154 と打った → → で「4」を消す → 5 → **155**
例）600,000 と打ちたいのに 6,000,000 と打った → → → **600,000**

5 小数点指定スイッチとラウンドスイッチ

小数点指定スイッチは「計算結果を小数点以下何桁まで表示するか」、ラウンドスイッチは「切り上げ・四捨五入・切り捨てのどれにするか」を決めるもの。

簿記では小数点指定スイッチを「F」に合わせておけばOK。Fなら小数点以下が制限なく表示されるので、ラウンドスイッチは切り上げ・切り捨ての設定としては気にしなくて大丈夫（日数計算と兼用なので、位置はいちばん左に）。

例）小数点指定「3」・切り上げで 1÷3 → 0.334（途中で丸められる）
　　小数点指定「F」で 1÷3 → 0.3333333…（そのまま表示される）

応用操作（勉強時間を短縮できる操作）

1 日数計算機能（2級以上では必須）

「何月何日から何月何日まで何日間か」を一発で計算できる。**日数** キーと、**%** キー（上に「〜」（から）と印字されている）を使う。

例）4月1日から9月15日まで
4 **日数** **1** **%（〜）** **9** **日数** **1** **5** **=** → **168日**

日数計算スイッチは「両入れ」に。片落ちだと167日、両落ちだと166日になってしまう。計算できるのは1年以内の期間で、うるう年の2月29日には対応していない。

2 メモリー機能

計算結果を電卓に記録しておき、あとでまとめて合計できる。途中の結果を紙に書かなくていい。

M+	表示中の数字をプラスで記録する（画面に「M」が出る）
M−	表示中の数字をマイナスで記録する
RM	記録した数字の合計を呼び出す
CM	記録をすべて消す（「M」の表示が消える）

例）（150,000＋20,000）＋（30,000＋40,000）＋（60,000＋10,000）
150,000＋20,000 **=** **M+** → 30,000＋40,000 **=** **M+** → 60,000＋10,000 **=** **M+** → **RM** → **310,000**

3 GT（グランドトータル）機能

= を押した計算結果が自動で記録され、**GT** でその合計を出せる。画面に「G」が出ていれば記録されている。

例）10＋30 **=**（40）→ 30＋50 **=**（80）→ **GT** → **120**

GT切替スイッチがある機種は、スイッチを「GT」に合わせておく。

4 パーセントキー %

〇〇の△%を一発で計算できる。消費税の計算などで便利。

例）10,000円の5%
1 **00** **00** **×** **5** **%** → **500**

5 ルートキー √

平方根を一発で計算できる。1級で使う場面がある。

例）√9
9 **√** → **3**

6 定数計算（同じ計算をくり返すとき）

1回目の計算で演算と数字がセットされ、2回目からは **数字 → [=]** だけで同じ計算ができる。最初から使えなくても大丈夫。余裕が出てきたら覚えよう。

くり返す計算	1回目（ここでセット）	2回目以降
毎回 ＋100	500 [+] 100 [=] → 600	250 [=] → 350 ／ 1,000 [=] → 1,100
毎回 −100	800 [−] 100 [=] → 700	450 [=] → 350 ／ 1,200 [=] → 1,100
毎回 10×	10 [×] 5 [=] → 50	3 [=] → 30 ／ 25 [=] → 250
毎回 ÷10	1,000 [÷] 10 [=] → 100	550 [=] → 55 ／ 30 [=] → 3

かけ算は「最初の数字（10×）」、それ以外は「後ろの数字（＋100、−100、÷10）」がセットされる（シャープの場合）。

電卓が速くなる練習方法

休憩中などに、この足し算をくり返す。指があちこちのキーに動くので、自然と叩くスピードが上がる。

192,837,465 ＋ 918,273,645 ＝ **1,111,111,110**

正しく打てると「1,111,111,110」というきれいな数字になる。1つでも打ち間違えると数字が崩れるので、ミスにすぐ気づける。